

## 6月定例教育委員会議事録

- 1 開催日 令和2年6月23日(火)
- 2 会場 大井川庁舎 2階 第3委員会室
- 3 開会 午後3時27分
- 4 出席委員 羽田明夫 教育長  
奥川重子 委員  
山竹葉子 委員
- 5 会議出席者 櫛田隆弘 教育委員会事務局長  
渡辺晃子 こども未来部長  
増田洋一 教育総務課長  
池田純也 学校教育課長  
鈴木孝之 学校給食課長  
見崎孝之 社会教育課長  
佐藤光夫 文化財課長  
石上睦晃 図書課長  
岩ヶ谷佳史 保育・幼稚園課長  
  
書記 片瀬能彰 教育総務課総務担当主幹
- 6 議事 別紙のとおり

<p>羽田教育長</p>	<p>【午後3時27分開会】</p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>お忙しい中、6月の定例教育委員会に御出席いただき、ありがとうございます。担当課から詳しく報告がありますが、「コロナに負けるな！焼津のこども元気大作戦！！」について、大井川庁舎の玄関に展示されています。ぜひご覧になっていただきたいと思います。自分が感じたのは、いい取組であったと思います。一つは、自主的に子どもたちが取組んだものである。それから、作品を見ただけでは分からない優しさが詰まっている。例えばウエディングドレスがありますが、コロナで結婚式を挙げられない花嫁のためについていう思いがある。賞はとっていないが、ごみ袋に「いつもありがとうございます」と紙を貼ってごみを出している小学生や、おじいちゃんにマスクを作ってあげたとか、そういう優しさが詰まっている良さがあるということと、家族と一緒に取組んだ子とが結構たくさんあって、コロナで閉じこもっている中、家族の絆を深めているとか、そんな子どもたちの取組を見られて、焼津の子どもたちはいいなと感じたところです。</p> <p>それでは、開会に先立ちまして、大石委員から所要のため、本日の定例会に欠席する旨の連絡が入っております。地方行政組織の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定では、「教育委員会は、教育長及び在任委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決をすることができない。」とされております。本日の出席者は、私を含めまして3人であり、過半数の3人以上でありますことを、ご報告させていただきます。本日の議事録署名人は「奥川委員」と「山竹委員」となりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。議第8号 令和2年度焼津市教育重点施策の改正について、説明をお願いします。</p> <p>(説明概要)</p>
<p>増田 教育総務課長</p>	<p>議第8号「令和2年度焼津市教育重点施策の改正」について、説明させていただきます。令和2年度の焼津市教育重点施策については、2月の定例教育委員会におきまして、御承認をいただいたところではありますが、その後の事情の変化により、一部修正をする必要が生じました。これまで、国の「GIGAスクール構想」に関連して、「令和5年度までの児童生徒1人1台のパソコン端末の整備を目指し、学校のICT環境の充実を図る。」としておりましたが、国がGIGAスクール構想を前倒しすることになりましたので、これを受けて、「本年度中に児童生徒1人1台のパソコン端末を整備し、学校のICT環境の充実を図る。」というように改めようとするものであります。説明は、以上となります。よろしくお願いいたします。</p>

羽田教育長	<p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは、お諮りします。議第8号 令和2年度焼津市教育重点施策の改正について、承認としてよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし</p>
羽田教育長	<p>それでは、承認とさせていただきます。</p> <p>次に報告事項に移ります。報告事項の1番、令和2年6月市議会定例会一般質問について説明をお願いします。</p>
櫛田事務局長	<p>(説明概要)</p> <p>4人の議員から質問がありました。</p> <p>質問と答弁の概要を報告します。</p> <p>池谷議員から、3月から臨時休校としたが、再開した判断経緯と今後の感染防止対策や学習スケジュール（GIGA スクール）についての質問がありました。一つ目、第7回市長・教育長連絡会議において、本市に感染者及び濃厚接触者が確認されていないことなどを踏まえ、児童生徒の学習機会の保障のため、学校を再開することとしました。二つ目、感染防止対策は、国から出された「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を基に、児童生徒が自ら感染リスクを判断し、マスク着用、手洗い、換気など感染予防対策を意識した行動がとれるよう指導をしています。三つ目、学習スケジュールについては、授業時数を確保するために、長期休業の短縮や、家庭訪問の中止など教育計画の見直しを行いました。四つ目、情報教育推進委員会を中心に、導入後の指針や授業モデルの検討を進めるとともに、全校の代表者によるICTリーダー研修会を開催し、各校での日々の授業の充実につなげていきます。</p> <p>杉崎議員から、コロナの影響による授業時数の減少の対応、今後、同様の事態が発生した場合の備えはどうか、との質問がありました。県内の多くの市町に先駆け、授業を実施し、21日から終日授業を行っています。長期休業の短縮や、家庭訪問の中止など教育計画の見直しを行うことで、授業時数が確保できると考えています。同様な事態が発生した場合の備えについてはパソコン端末を活用して、健康観察などを行う朝の会の実施や、児童生徒が家庭で自主学習ができるよう、準備を進めているところです。</p> <p>川島議員から、手洗い場の蛇口を手回し式から、レバー式に変えることについて、今後の感染拡大防止に対する考えについて質問がありました。蛇口をレバー式に取り替えることについては、感染防止対策の一つの手法</p>

	<p>であると考えられますが、学校現場からは、肘で操作する場合、前かがみの姿勢となり、特に低学年の児童にとっては困難であることや、蛇口の位置や場所によって、設置ができない、操作がしにくいといった意見も聞いていることから、今後、校内の改修に合わせて、感染予防について、検討をしていきたいと考えています。今後の感染防止対策については国のマニュアルを基に、児童生徒が自ら感染リスクを判断し、マスク着用、手洗い、換気など感染予防対策を意識した行動がとれるよう、引き続き指導をしていきます。</p> <p>引き続き川島議員から、今後の学校休校時の対応についてオンライン学について質問があり、GIGA スクール構想に基づき、一人一台端末の積極的活用によるオンライン学習を含めた新たな学習方法の在り方について、検討していきます。</p> <p>引き続き川島議員から、スマホやパソコンを使えない高齢者へのスマホなど情報機器の使い方をサポートするための取り組みについて質問があり、公民館で「パソコン講座」を開講している。今後も、情報機器のソフト面やハード面の進化に 合わせ、操作方法などが学習できる機会を提供していきます。</p> <p>深田議員から、少人数学級について、学習と行事について質問があり、「教室での座席の間隔については、1 mが目安だが、施設の状況や感染リスクの状況に応じて、座席の間隔に一律にこだわるのではなく、柔軟に対応する」よう示されており、これに則って対応しています。したがって、20 人以下の少人数学級を実施する必要はないと考えています。学習と行事については、学校教育が協働的な学び合いで行われることに鑑み、マニュアルを基に、各学校において感染症対策を行った上で、運動会や修学旅行などの学校行事も含め、学校教育ならではの学びを大切に、教育活動を進めています。</p>
羽田教育長	<p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>報告事項の2番、焼津市教育委員会事業評価報告書作成日程について、説明をお願いします。</p>
増田 教育総務課長	<p>(説明概要)</p> <p>それでは、報告事項2 焼津市教育委員会事業評価報告書作成日程について、説明させていただきます。事業評価報告書につきましては、平成19年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正されて以降、平成21年度から毎年作成しているところであります。「地方教育行政の組</p>

	<p>織及び運営に関する法律」第 26 条第 1 項において、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」と定められており、さらに同条第 2 項において「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。」とされていることから、有識者 5 人以内の委員で組織する「焼津市教育委員会 事業評価委員会」を設置することとしています。一昨年度より、スポーツに関することの職務権限が、市長部局に移っておりますので、今年度、昨年度の教育委員会としての事業評価を行うに当たっては、①学校、②PTA、③社会教育、④文化・芸術の 4 分野から委員の推薦を依頼したところ、文化連盟からは佐藤秀夫会長、校長会からは大富小の飯塚秀実校長、PTA 連絡協議会からは鈴木佳奈子家庭教育委員長、社会教育委員会からは渡邊徹委員長の御推薦をいただきましたので、この 4 人に委員を委嘱させていただきます。次に、日程についてであります。8 月から 9 月の初旬にかけて、事業評価委員会を 2 回開催し、委員からの御意見を反映させた報告書（案）を作成し、9 月 29 日開催予定の定例教育委員会で御審議いただき、修正を加えた上で、最終の報告書を取りまとめ、11 月の市議会定例会に提出するとともに、ホームページで公開したいと考えております。説明は、以上になります。</p>
羽田教育長	<p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、報告事項の 3 番、いじめ問題への対応、引き続いて、報告事項の 4 番、最近の小中学校の状況について、説明をお願いします。</p>
池田 学校教育課長	<p>(説明概要)</p> <p>5 月の新たないじめの認知件数について、小学校は 0 件、中学校は 1 件でした。この 1 件に関しては、学校が適切に対応し、解消に至っています。</p> <p>最近の小中学校の状況について、報告します。新型コロナウイルス感染症対策について、6 月 1 日から通常日課による学校生活を送っています。できる限りの感染対策を行いながら、話し合い活動、音楽の合唱指導、体育の接触する活動等も行っています。新型コロナウイルス感染症対策の換気と熱中症対策の室温管理を並行して行っています。</p> <p>5 月の生徒指導関係、不登校については 30 日以上欠席者が該当となるが、本年度の登校日数が 30 日を超えていないため、現在のところ報告はありません。学校再開後、不登校経験者が頑張って登校していたが、やや疲れが出てきており、徐々に登校を渋り始め、欠席が続いている児童生</p>

徒がいます。重篤になる前に保護者とも関係を作り、児童生徒・保護者・担任にとって見通しが持てる支援方法を組織的に考えていきます。問題行動については、5月は小学校が4件、中学校が13件でありました。小学校の4件の内3件が金銭乱費で、いずれも親の財布から現金を抜き取り、合計12万円におよぶケースもありました。中学校では、昨年度同時期には見られなかった授業放棄や教師への暴言がありました。心の支援を行うよう各校に指導します。

交通事故について、5月は小学校が3件、中学校が1件でした。4件のすべてが自転車乗車中の事故でありました。各校で行われている交通安全教室と担任等から行われる日常的な繰り返しの指導で今後も引き続き指導の徹底を図ります。

不審者について、5月の報告は0件でした。引き続き児童生徒に注意喚起を行っていきます。

行事について、例年実施している少年の船、ボートレース大会、土岐市スポーツ交流、ホバート短期学生派遣は本年度中止としました。

大石委員からの事前質問について、焼津市では近隣市町と連携をして、「令和2年度志太榛原支部中学校総合体育大会」を実施する方向で検討しています。大会開催の目的は、①3年生が最後のまとめの期間に目標をもって取り組めるようにし、部活動の充実を図る。②3年生が、同じ種目に取り組んできた他校の生徒との交流を深め、中学校生活の思い出の一つとする。③①と②により、3年生の人間的な成長の一助とする。です。大会の日程は、7月23日から26日の中で原則2日間以内、雨天の場合は8月1、2日で考えています。大会の実施方法については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための配慮をして可能な範囲で実施を計画しています。今後の検討により、開催が難しい種目があることも考えられます。教育委員会としては、3年生が精一杯最後の大会に参加できるよう、例年通り生徒が大会会場に移動するためのバス代を補助します。

奥川委員からの事前質問について、まず、県費の支援員は、「特別支援教育支援員」と、「学び方支援サポーター」がいます。「特別支援教育支援員」は通常学級へ小中学校で合計8名、特別支援学級へ小中合計2名の計10名配置しています。「学び方支援サポーター」は小学校で6名配置しています。市費の支援員は通常学級へ配置している「特別支援教育支援員」と、特別支援学級に配置している「個別支援員」、そして小学1年生の全学級に配置している「小1サポーター」がいます。「特別支援教育支援員」は小中合計30名配置し、「個別支援員」は、小中合計23名配置しています。「小1サポーター」は37名配置しています。さらに「心の教室相談員」をすべての小中学校に、学校司書を一つの小学校を除く21小中学校に1名ずつ配置しています。

羽田教育長	説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。
奥川委員	<p>大変面倒なお願いをして申し訳ありませんでした。子どもたちを大事にする焼津市ならではの施策の一端かなとありがたく思った幸いです。それと、今度のコロナに関する休校というのは、コロナは目に見えないけれども、子どもたちの成長とか不安も目に見えず、今後それがどういう形で出てくるのか学校職員も気が休まることないだろうと推測いたします。これだけ多くの支援員を学校に配置くださっている。担任以外の目で見つけていただいたら、それがなんでもないことであってもいいのではないかなと、この役職をまたいで、学校の大人の目で子どもたちの変化を見逃さないことが今後のいじめとか不登校をつくっていかないことになるのではないかと考えます。現場の先生方、そして教育委員会の先生方、本当に御苦労だと思いますが、子どもたちの不安の表れを見逃さない体制を重ねてお願いをしたいと思っております。</p>
羽田教育長	<p>ありがとうございます。今日の朝刊にも子どもたちの長く休んでいる間の記事がでていました。休んでいる間の子どもたちの成長は本当に心配で、奥川委員から話があったように、大勢の大人で子どもたちの姿を見ているってことは大事ななって思いますので、校長会等を通してそんな話を伝えていただけるとありがたいなと思っております。</p> <p>その他、御意見・御質問、ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、その他に移ります。その他の1番、コロナに負けるな！焼津のこども元気大作戦！！の結果について、説明をお願いします。</p>
池田 学校教育課長	<p>(説明概要)</p> <p>新型コロナウイルス感染対策のため学校が休校となる中、焼津を、そして日本を元気にすることを目的に、休校期間中に自主的に取組んだ作戦を募集しました。当初200作戦程度を見込んでいましたが、680作戦の応募がありました。市長賞として、焼津東小児童の「焼津からコロナを追いだせ50音かるた」及び大村中生徒の「焼津から元気を届けよう」のドレスが選ばれた他、素晴らしい作戦が受賞しました。入賞を果たせなかった作戦の中にも、家族みんなで、料理や家庭菜園に取組んだ作戦や、毎日の楽器やスポーツの練習にコツコツ努力して取組んだ作戦もありました。6月18日に表彰式が開催され、作戦は大井川庁舎のロビーに展示してあります。また、今後、入賞を逃した作戦を学区の公民館に展示する予定です。</p>

羽田教育長	<p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。次に、その他の2番、第30回（令和2年度）小泉八雲顕彰文芸作品コンクールの実施について、説明をお願いします。</p>
佐藤文化財課長	<p>（説明概要）</p> <p>焼津に滞在し、焼津を愛した小泉八雲の業績を普及・顕彰するために、小学生以上を対象として文芸作品を募集する。募集期間は令和2年7月1日（水）から10月6日（火）。主な募集条件は、小泉八雲を題材とした未発表作品であること。募集の締め切り後、小学生の部、中学生の部、高校生の部、一般の部の4部門別で審査、入選作品を作品集にまとめます。入賞者への表彰式は3月上旬を予定し、賞状、記念品、作品集を贈呈します。また、応募者全員に作品集と参加賞を贈ります。募集についてのお知らせは、7月1日の広報やいづ及びHP、また、ポスター、募集要綱を近隣小中学校、高等学校、県内図書館、文化施設、教育委員会、県外ゆかりの地などに配布する。市内小中学校には、校長会への依頼などによりさらに募集に務めます。</p>
羽田教育委員長	<p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>次に、その他の3番、保育・幼稚園課による公立幼稚園訪問のご案内について、説明をお願いします。</p>
岩ヶ谷保育・幼稚園課長	<p>（説明概要）</p> <p>毎年実施している、保育・幼稚園課による公立幼稚園訪問の日程が決まりましたのでお知らせします。教育長、教育委員の皆様は公務、お仕事等でお忙しいと思いますが、御都合がよろしい日時がありましたら、園のほうへお越しいただきたいと思います。お越しいただく際は、保育・幼稚園課へ御連絡いただくとありがたいです。</p> <p>奥川委員からの事前質問について、保育園の園児数については、保育需要の増加に伴い、公立・私立保育園に加え平成30年度からは小規模保育事業や事業所内保育事業が開設し、受け入れ園児数が増えたこともあり、年々増加をしております。特に平成29年度からは、待機児童を解消するため保育の受け皿確保に小規模保育事業の設置を推進し、保育の受け皿を拡大したことにより、令和元年7月1日に国基準の待機児童ゼロを達成し、現在までゼロを継続しております。昨年10月から実施された幼児教育・保育の無償化に伴う影響ですが、数字として顕著に表れたのは私立幼稚園だと思っております。資料のとおり、公立・私立を問わず、ここ数年は幼稚</p>



羽田教育長	<p>園の園児数の減少が続いていました。しかし、今年の5月1日時点で、私立幼稚園の園児数が昨年比で36人増えておりますので、無償化による幼稚園の利用料の格差がなくなり、また、満3歳児保育や預かり保育も無償化の対象になったことにより、私立幼稚園の需要が増えたものと思っております。異年齢による保育について、石津保育園では、年間を通して3歳から5歳児までの子ども達を、いわゆる縦割りにして3クラスに分け、異年齢の保育を実施しております。</p> <p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。</p>
奥川委員	<p>ありがとうございます。東益津の幼稚園が人数が減ってきてしまった時に、4歳児、5歳児、6歳児の活動だけでなく、みんなでやる活動、まさに石津の異年齢の活動みたいなものだと思いますが、石津保育園の異年齢集団の活動っていうのは、発端を教えてくださいませんか。</p>
岩ヶ谷保育・幼稚園課長	<p>通常は3歳児、4歳児、5歳児、各クラスに分かれて保育をしますが、石津保育園については、現園舎を建てたのが平成25年度であり、その直前から異年齢の保育を実施しています。当時の園長が縦のつながりの保育を実施することにより、3歳児は4歳児、5歳児を見て育つ、5歳児は下の子の面倒を見ながら育つ、ということを目的として実施したと聞いています。</p>
奥川委員	<p>私は、公立の保育園で異年齢集団でやっていくってことは価値があると思うんですが、その成果みたいなもので、他園へ広げるってことは、今のところ動きはないですね。</p>
岩ヶ谷保育・幼稚園課長	<p>石津保育園は全体の規模が比較的小さい園になると思います。小川保育園、旭町保育園は100人規模になり、大井川保育園は定員が300人となりますので、その規模で異年齢をやることは、難しい状況になります。他の園には広げる予定はありません。</p>
奥川委員	<p>公立の保育園で発端は園長さんの発案だったかもしれませんが、成果があるのではないかと思います。焼津市の教育論文へ出されたことあります。ぜひ、こういう新しい取組とか、そこの園での取組で、他と違うんですけれども、こういう成果があったよとか、こういう課題があったよっていうのを、記録に残していただくっていうのは今後の保育においても大事なことではないかと思います。それで、教育論文で最近幼稚園の先生</p>

<p>羽田教育長</p>	<p>方も応募してくださっているようで、ありがたいなど。ぜひ、ハードルが高くなってしまいかもわかりませんが、一つ、今後の保育の在り方を提案するって意味で、そういう形で記録として、残しておいていただけたらありがたいなというのが希望です。</p> <p>意見として、とらえていただければありがたいと思います。このことだけではなくて、新しい取組をしていたら、そこには成果と課題が必ずあって、それを次に活かしていくことが、焼津市の教育の発展にもつながっていくと思いますので、ぜひ、参考にしていただければありがたいと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p> <p>それでは、以上で本日の議事は、すべて終了いたしました。全体を通して、委員からご発言がありましたらお願いします。</p>
<p>櫛田事務局長</p>	<p>ディスカバリーパーク焼津より、情報誌「ディスカバリー」を配付させていただきました。コロナの関係で事業を縮小したため、通常よりボリュームが少なく、チラシのようになっています。</p>
<p>羽田教育長</p>	<p>それでは、次回の開催予定であります。次回は、定例教育委員会として7月16日(木)午前10時から、焼津給食センター2階会議室で行います。給食の試食もありますので、承知をしておいてください。</p> <p>以上をもちまして、6月定例教育委員会を閉会いたします。皆様、お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;">【午後4時17分閉会】</p>